

極楽寺だより



2015(平成27)年8月号

発行所：極楽寺 (浄土真宗本願寺派) ☎759-3803 山口県長門市三隅下野波瀬 3633 ☎0837-43-0625

盆法会のご案内

暑中お見舞い申し上げます。お盆は都会に出ておられる方々の帰省で、忙しくもうれしい時期です。

ならば、ご家族揃ってお寺にお参りされてはいかがでしょう。盆法会はお勤めを含めて一時間と少いで終わります。計算してみれば、一年は八七六〇時間。八七六〇のうちのたったの一時間です。しかし、こんな慌ただしい時代だからこそ、心を落ち着け仏様に手を合わせる時間を持つことは、人生にとって本当に大切なものとなるはずですよ。

八月十四日(金) 昼二時
八月十五日(土) 昼二時
八月十六日(日) 朝九時(魚法会)



さかなくよう さかなほうえ こころざし ぎよぎょうしや せんざき くじら
魚供養、魚法会は、特に志を供えられた漁業者だけの法要ではありません。仙崎地区の鯨法会のように、どなたでも、また多くの方がともに仏法を聞くことが大切なのです。たくさんのお参りをお待ちしています。

ご予約下さい

第52回三隅地区親鸞聖人鑽仰会法座

期日：9月10～11日 会場：上中小野 明恩寺

講師：山根光恵 師 ※お寺で送迎致します。遠慮なくお申し出下さい。

ご報告

6月21日の総代・世話人会議にて、下記の通り収支決算が承認されました。

2014（平成26）年度極楽寺門徒会収支決算書

	費目	金額(円)	摘要	
収 入	門徒会会費	840,000	延280戸×3,000円（野波瀬延115／在方延114／町外延51）	
	本山教化助成金	0	本山門徒講、永代経志進納によるもの	
	貯金利息	189		
	前年度繰越金	3,549,211		
	合計	4,389,400		
支 出	負担金	407,740	本山賦課金	245,600
			山口教区費	125,540
			大津東組 組費	36,600
	研修会費	6,000	組総代会総会(7/25)	3,000
			教区総代会記念大会(12/9)	3,000
	火災保険料	295,240	西部農業共済	83,460
			本堂 6,700万円 JA共済	161,680
			庫裏 4,000万円 JF共済	50,100
	会議費	60,000	7/1 総代・世話人会議	
	慶弔費	20,000	石村政一元世話人・安野松一元世話人	
特別会計回金	2,000,000			
予備費	0			
合計	2,788,980			
差引残金		1,600,420	漁協普通預金	

※ 2013年度より、これまでの火災保険だけではなく、自然災害対応の保険に変更することになりました。

2014（平成26）年度極楽寺 特別会計収支決算書

	費目	金額(円)	摘要
収 入	前年度繰越金	2,365,636	定期預金 2,292,380 普通預金 73,265
	門徒会計より回金	2,000,000	定期預金に
	利息	464	定期 458円 普通預金 6円
支 出		0	
合計		4,366,100	漁協定期預金 4,292,380円 普通預金 73,256円

※ 特別会計の用途は、大法要・修復等に限定し、総代会に相談の上とすることにしていきます。

2015(平成27)年度の門徒会費は、前年通り3,000円です。

三隅地区の方は世話人さんへ。他地区の方は、直接お寺の方へ納入して下さい。宜しくお願いします。

極楽寺ホームページには、住職の憤りや叫びを伝える「ほえるぜ!住職」というコーナーがあります。とは言っても、タイトルほどにはほえないのですが。

『極楽寺だより』には掲載しない固い文章もあり、過激?にほえる文章も、ときたまあり。

今回は、特別企画として、『極楽寺だより』でほえてみたいと思います。

特別企画!

ほえるぜ!住職
住職雑記

そんなには、ほえないけどね



極楽寺ホームページ <http://極楽寺.com/>

ドラえもんがいたらなあ

「ドラえもん、助けて〜」

住職と同世代以降いこうの方ならば、誰もが一度は思ったことがあるのではないのでしょうか。「ドラえもんがいたらなあ」と。

いまや、世界的にも認知にんちされている『ドラえもん』。未来か

らやってきた猫型ロボット・ドラえもんが、四次元よじげんポケットか

ら取り出す「ひみつ道具」で、のび太くんの身にふりかかった災難さいなんを

解決しようとするお話です。とはいえ、のび太くんが調子ちようしに乗って道具を使うことで、しつぺ返しを

受けるというパターンが多いのですが。

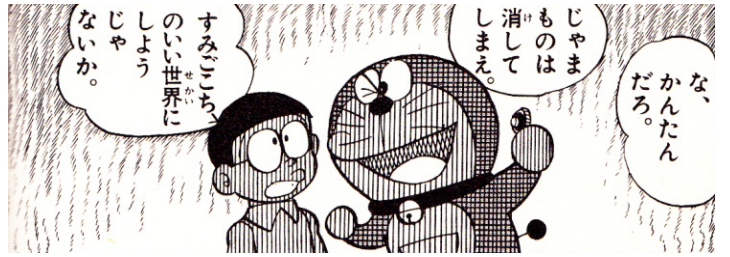
さて、先日あるニュースを目にしたことで、五〇歳を過ぎたすにもかかわらず、「ドラえもん、助けて〜。あの道具出して〜。」と叫びさけたくなるような思いがしました。

あの道具とは、「どくさいスイッチ」。

ガキ大将のジャイアンにいじめられたのび太くん。思わず、「ジャイアンさえいなかったら、こんな目にあわなかったのに・・・。どこかへ引越していかないかなあ。」とつぶやきます。

それを聞いていたドラえもんは、「ふうん。そんなふうを考えるんだ。じゃ、やってみる?」と





ポケットから一つの道具を取りだしました。
「これは『どくさいスイッチ』」

気に入らない者の名前を告げて、スイッチを押すとその人が消えてしまうというモノ。

その名のとおり独裁者のためのスイッチです。

「な、簡単だろ。邪魔者は消してしまえ。すみ

ごちのいい世界にしようじゃないか。」

そんなささやきに、のび太くんは「しかし、

人ひとり消すというのは・・・、

おそろしいことだ。しばらく

く考えてみたい。」

ところが、再びジャイアンにいじめられそう

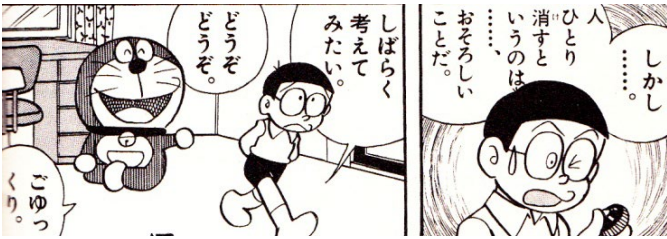
になり、思わず「消えろ!」とスイッチを押し

てしまうのです。とんでもない事をしてしまっ

たと自分のしたことに怯え、もう二度と使わな

いぞ!と心に決めますが止まりません。事ある

ごとに、消してしまいます。 →



「おそろしいスイッチだなあ・・・。かっとなると、つい・・・。おしたくなるもんな。」

ついには、みんなからかわれ、笑われる夢にうなされ、「誰もかれも消えちまえ!!」と寝言をいいながら、スイッチを押してしまつたのです!世界中から人という人が消えてしまいました。ひとりぼっちになりどうしようもない恐怖に襲われるのび太くん。

「ひとりでなんて・・・、生きていけないよ・・・。」

そこに、消したはずのドラえもんの声が。

「気に入らないからって次々に消していけば、きりのないことになる

んだよ。わかった?」

実はこの「どくさいスイッチ」。独裁者を懲らしめるための道具で

あり、消えた人たちもきちんと元に戻るようになっていのです。

気に入らない人を消していても、きりが無い。思い通りにならな

い人を消していけば、気がつけば独りぼっちになってしまふ。「思い

通りにしたい」という自分の思いが、実は苦しみの原因になるのだと

いう、とても仏教的なお話です。(だからといって、ジャイアンのい

じめが正当化されてはいけません。) →

さて、この「どくさいスイッチ」を出して欲しいと思ったきっかけが、六月二十七日自民党の若手勉強会で出席議員が、「マスコミを懲らしめるには、広告収入がなくなるのが一番。経団連に働きかけてほしい」と、そして講師で招かれた有名作家の方も、「沖縄の二つの新聞は、つぶさなくてはいけない。」という発言です。圧倒的多数の議席を持つ与党の議員が、そしてその議員が学ぶために招かれた講師がする発言とは、とても思えませんでした。おまけに作家氏は、「言論は自由であるべきだ。私と意見が違う二紙を誰も読まなくなり、誰も読者がいなくなつてつぶれてほしいという意味での発言だ。」ともおっしゃったとか。

小学四年生(という設定)ののび太くんでさえ「人ひとりを消すというのは・・・、おそろしいことだ。しばらく考えてみたい。」とためらいましたが、いい大人であり、しかも影響力があり、実際に権力の立場におられる方が、まったくのためらいもなく言い切つてしまうというのは、いかがなものでしょう。とても大人げなく、とても恐ろしい気がします。

ここで、思い出して下さい。ドラえもんの声。自民党の若手議員さん、そして有名作家さん、聞いて下さい。ドラえもんの声。

「気に入らないからって次々に消していけば、きりのないこと」

になるんだよ。」

でも、「気に入らないヤツは、消えろ」「意見が違う新聞つぶれろ」というのは、器がとても小さいですね。昔の自民党の政治家は、もっと懐の深い人がたくさんいたはずなのに。それだけ、もの見方の幅が、狭くなっている時代なのでしょう。

何より「言論の自由」があるから、何を言つてもいいのであれば、差別的発言も、言葉によるいじめも、許されることになつてしまいます。それは違うでしょう。自由とは、みんなにあるもの。自分だけにあるものではないのです。相手の存在を尊重しない発言は、単なる「暴言」です。

仏法の真骨頂は、「私の思い」という枠組みをずらし、揺らすはたらきです。

「私の思い」「私の好き、嫌い」が、全てではない。逆に、「私の思い」が私自身を苦しめるのだ、と「私の思い」を揺さぶり

「何とちっばけな思いに縛られていたのか」



と気づかせ、目覚めさせて下さるのです。

自民党の若手議員や有名作家さんは、自分では国を愛するがゆえの発言だと思っておられるでしょう。でも、あなたが愛する国とは、意見が違う人は住めない国なのですか？国を愛するなら、同じ国に住む人たちを愛して欲しい。違う意見の人も。思い通りにならない人であっても。

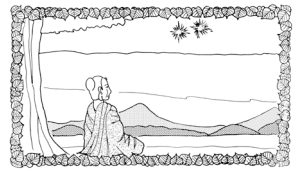
意見が違う人を切り捨てるのは、本当に国を愛しているとは言えません。単に「私と同じ考えの人たちだけが住む国」を愛しているのであり、突き詰めるところ、ただ「私」を愛しているだけのこと。それがエスカレートすれば、独りぼっちにしかならないことを、ドラえもんは教えてくれるのです。

もし、ドラえもんがいたら、「どくさいスイッチ」を使って諭して欲しいのですが、それはムリなお話。しかし、私たちがよりどころとする阿弥陀如来の「浄土」とは、私の嫌いな人も、意見が違う人も、共に生きる世界です。何よりも、「私」が問われ、「私」という枠組みが問われる世界です。だから、「私」が嫌いな人も、「私」と意見の違う自民党の若手議員の方々とも、有名作家さんとも、

共に生きていかねばならない。その存在は、敬わなければならないと教えて下さる世界でもあります。

そんな世界を「よりどころ」とする私たちだからこそ、今こそ、もの申さねばならないと思っています。ドラえもんはいないのでから。 ■





極楽寺揭示伝道
けいじてんどう

戦争は 正義と悪の
戦いではなく
正義と正義の
戦いである

8月の言葉

大河ドラマ『花燃ゆ』は、視聴率が伸び悩んでいるようです。幕末の、しかも今までスポットライトが当たらなかった人々を描くドラマです。名前も覚えにくく、関係性や流れが複雑に入り組んでいるので、わかりにくいということがあるのでしょうか。そこに、「軍国主義の象徴に利用された吉田松陰」というイメージも絡み、山口県以外の人々には抵抗があるのかもしれない。

さて、幕末の長州藩で維新の原動力となった改革派・討幕派の吉田松陰や久坂玄瑞、高杉晋作といった人々を、これまで「正義派」と呼んでいました。一方、その藩内の対抗勢力である保守派・幕府恭順派の椋梨藤太（演じるのは、内藤剛志さん。やはり、この人は悪役が似合います。）たちを「俗論党」と、呼んできました。ところが最近では、研究の場においてもこれらの呼び名は使わないのだそうです。実は「俗論党」と呼ばれてきた人たちも、当時は自分たちのこ

とを「正義派」と自称していたのです。つまり、どちらも「我らこそ、正義だ！」と主張し合っていたということです。「正義」対「悪」という構図は一面的な見方であり、実際は両方が「正義」を主張する「正義」対「正義」の戦いでした。

松陰たちを「正義派」と呼んだ歴史は、あくまでも勝ち組から見た歴史認識なのです。確かに勝った側から見たら、負けた側は悪役に見えるかもしれませんが、負けたからといってすべて間違っているわけでもない。冷静に考えてみれば、ごくごく当たり前のことです。同時に、勝った方が間違っているということでもなく、負けた方が正しいということでもありません。これも、当たり前のことです。

親鸞聖人は、私たちのふるまいは「雑毒の善」でしかないのだと教えられています。一方的な「正義」の主張は、相手の立場を考えません。ためらわないし、ブレーキもかかりません。止めどもなく、相手を攻撃します。私たちが善いことだと思っても、そこには毒や間違いが必ず混じる。その自覚が、自分を振り返り、相手を思いやることを生むのでしょうか。

親鸞聖人が、「日本のお釈迦様」と尊敬された聖徳太子の十七条の憲法に、「われかならず聖なるにあらず、かれかならず愚かなるにあらず。ともにこれ凡夫ならくのみ。」とあります。私がいつも正しいわけではなく、相手がいつも間違っているわけではない。

ともに、ただの人間なのだ。ごく当たり前のことです。しかし、ここには卑屈な自虐的態度などありません。人間という存在を深く受けとめた、謙虚で誠実な生き方が示されています。が、私たちはこの事実を見落としてはいけないでしょうか。本当に、このことを前提にしているのでしょうか。逆に、「私は大丈夫。絶対に間違いは起こさない。」と自らの正義を押し進める人に、傲慢さと軽薄さを感じるのは、私だけではないはずです。「人間は、いつの時代においても不完全な、ただの人間である」と定義するならば、自分を常に振り返る、相手を思いやるという営みは、生きる上において不可欠なものだと言えるでしょう。

時代的な状況において（幕末におけるヨーロッパの植民地政策は、それはそれは、怖ろしいものだったでしょう）、それぞれが生き延びるために正義を掲げていく必然もあつたはずですが。しかしそこには、同じように故郷を思いながら、意見が違うからと切り捨てられた人もいたのです。その後ろめたさを忘れ、爽やかに善人面して生きるわけにはいきません。

いや、心に残ろめたさを持ちながら生きる人の後ろ姿にこそ、複雑さを受け止める奥ゆきと豊かさや自省の心、そして他者を想う優しさを感ずるのです。■



7月の言葉



佐藤 允

映画『独立愚連隊』などで活躍され、「和製チャールズ・ブロンソン」とも呼ばれていた俳優・佐藤允さん（二〇一二年に逝去）を覚えておられるでしょうか。名前は知らなくても顔を見れば、大抵の方がわかります。とはいえ今の若い世代の方々は、チャールズ・ブロンソンもご存知ないでしょうから、住職世代以上の方だけなのかもしれません。

その佐藤允のお母さん・キナさんは、篤信の念仏者でした。キナさんが亡くなられた後、こんな詩が出てきたそうです。

- 1 ひとりじゃなかもん み仏と いっしょに朝食いただいで
- 2 ひとりじゃなかもん み仏と よもやま話に花さかせ
- 3 ひとりじゃなかもん み仏に 不平も愚痴も話します



- 4 ひとりじゃなかもん み仏は 笑ってうなづきなさいます
- 5 ひとりじゃなかもん み仏の お慈悲のふとんに眠ります
- 6 ひとりじゃなかもん み仏と 大悲の朝をむかえます
- 7 ひとりじゃなかもん み仏と 無限の光を拝みます
- 8 ひとりじゃなかもん み仏に 両の手合わさせてもらいます

一人暮らしたったヒナさんは、阿弥陀様と一緒に生きておられたのです。一昔前は、そんな方がたくさんおられました。それだけ、阿弥陀様の存在を身近に感じ、ぬくもりや手触りを感じておられたのです。だからこそキナさんは、一人でいても独りではなかったのです。

ところが今の若い人たちは、仏様がおられることにリアリティーを感じていません。そういう世界を「科学的ではない」「古臭い」と、馬鹿にし踏みにじってきた歴史があるからです。

ある社会学者が、「宗教があまり大きな意味を持たない現代の日本では、周りの人から認めてもらうという形で自分というものを確認している。すると、周りの人の目ばかりが気になり、見捨てられたら死ぬしかない。」と指摘しています。周りの目ばかり気になると、「みんながいじめているなら、私もいじめなくてはならない。」 ↓

「みんながやっているなら、俺もやっている。」ということにもなりかねません。事実、「みんながやっているから」と理由だけで、大切なことがどんどん切り捨てられています。そうになると「みんなが認められないから」と、自分を切り捨てても不思議ではないでしょう。

誰もわかってくれなくても、見守って下さる方がある。私が私を見捨てても、見捨てることなく願いをかけて下さる方がある。それが阿弥陀如来という仏様です。ヒナさんは、阿弥陀様からの呼び声であるお念仏を称えながら、阿弥陀様に支えられ、励まされ、導かれて生きておられたのです。

「仏様が一緒にいて下さる」という回路が成立していることが、人生にとってどれほど大きなことなのか。ヒナさんの後ろ姿を通して、私たちはそれをもう一度取り戻す必要があるのではないのでしょうか。 ■



大津東組キッズサンガ ～お寺にとまろう！～

毎年恒例の大津東組主催、キッズサンガ。

今年は、俵山 西念寺で開催いたします。

たくさんの方のご参加をお待ちしています！！



- ◇ 日 時 8月5日 (水) 午後2時30分より 6日 (木) 午後1時まで
- ◇ 場 所 俵山 西念寺 ◇ 対 象 小学3年生から中学生まで
- ◇ 会 費 1,500円 (当日集めます) ◇ 申し込み&お問い合わせ お寺まで。

極楽寺お寺の子ども会 ～花火とかき氷の夕べ～



8月のお寺の子ども会は、夜の子ども会です！

8月19日(水)

夜7時30分から 9時前には終わります



極楽寺ホームページ
<http://極楽寺.com/>

極楽寺だよりの過去の記事をはじめ、大河ドラマ『花燃ゆ』の情報など、盛りだくさんの内容です。

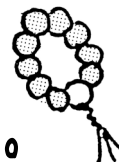


極楽寺だよりを送riませんか

都会に出ておられる子どもさん、お孫さんたちへ。
有縁の方々へ。お寺から、直接郵送します。

お寺まで、お持ち下さい。

お念珠 修理いたします。



仏事、葬儀、納骨・・・、わからないこと、困ったことがあれば、
極楽寺にご相談下さい。どうぞ、ご遠慮なく 0837 (43) 0625

□日本が戦争に敗れて70年が経ちました。当時を経験された方々は、私などが想像するよりも大変な思いをされておられたのではないかと思います。その深さと重さには、もっと想像力をもって接していかねばと思うと同時に、その体験や歴史を、あまりにも軽薄で傲慢に扱う昨今の風潮に怖れも抱いている今日この頃です。(住)